

県教委はさきに県教組から回答を求められていた公開質問状に対して文書によって回答を行なった。この日の話し合いは教育課程の編成権、指導要録の記入、テスト補助員の任命委嘱等、かなり内容的に細かな点にふれて話し合いがもたれたが、県教組の反対態度は強硬であった。

9月20日

この組合は、教育委員と教育委員会との機構上の関係の理解に乏しく、いたずらに事務局を攻撃し、学力調査のへい害について誇張してこれをとなえ、現場の大半の意向と全く反した主張をしてゆずらなかつた。学力調査の真の趣旨を了解してもらおうと努力した県教委は、組合の「絶対反対」の主張には、いささかあ然とした感があった。

10月17日

この日の話し合いはつぎの2点について焦点がしぼられた。

- 1 職務命令と処罰規定の問題
- 2 学力調査の警察権の介入の問題

県教委は極力県内が平穩のうちに学力調査が実施されるよう組合に協力を求め、万一、法に違反した場合は処罰の対象にもなることを明らかにする一方、警察権の介入する事態をおきないよう、組合に対し良識ある態度を要望したが、組合は県教委と話し合っても無駄であると称し話し合いの機会を自ら放棄した。

2月7日

懲戒処分撤回の申し入れによる話し合いがもたれたが、県教委は

「事実無根の処分ということはありません。今回の処分については当委員会としては出来るだけの調査と資料に基づいて行なったものである。ただし処分の事由と明らかに違っている資料を提示された場合はその資料について検討のうえ適切な措置をとる。なおその資料は書面によって提示すること。」

として話し合いを終った。

5 各種表彰

全国保健体育優良校

昭和36年度の全国保健体育優良校として下記2校が日本体育指導者連盟から表彰された。

- (1) 郡山市芳山小学校

研究題

- ① 器械運動の系統的指導法
- ② ボール運動・リズム運動の指導法

- (2) 相馬郡小高町立小高中学校

研究題

- ① 学習指導と評価

福島県体育優良校表彰

昭和35・36年度の2カ年にわたり体育研究指定校として、本県の学校体育の振興に寄与された功績に対し

下記の2校が県教育長から表彰された。

- (1) 磐城市立泉小学校

研究題

- ① 器械運動の段階的な指導
- ② リズム運動の系統的な指導
- ③ 体育指導における集団向上の日常化

- (2) 会津若松市立行仁小学校

研究題

- ① 陸上運動の系統的指導法
- ② 水泳指導の継続研究

福島県体育功労者表彰

- ・ 神田 久太郎 明治30年生

柔道の発展に尽した功績大であり常に一線に於て指導の任に当る。'県三道会の発足により努力し又青少年柔道の指導に専念した功績大である。

- ・ 半谷 敬寿 明治44年生

卓球の普及指導に尽力し社会人のため施設を開放、練習の指導研究に専念した。また広く日本卓球会のためにも尽しその功績は大い。

- ・ 江川 千代八 明治44年生

軟式庭球の発展に尽し、バドミントンの本県導入に努力した功績は大い。又軟式庭球の選手養成に努め本県体育の進展に功献した。

福島県体育功労優良団体表彰

- ・ 東亜栄養化学工業株式会社卓球部

実業団卓球連続10ヶ年優勝し本県体育会に残した歴史は輝かしい。実業団スポーツの発展のため社内打って一丸とした功績は大い。

他に福島県体育協会より優秀選手として次の選手を表彰した。

庭 球	鈴木 存	北日本大会連続優賞
軟式庭球	渡 辺 コ ト	国体9ヶ年連続出場
〃	坂 本 幹 雄	熊本国体 第3位になる
〃	斎 藤 充 生	
〃	後 藤 守 男	
〃	三 浦 繁 夫	
陸上競技	穴 戸 英 顕	全国マラソン界の活躍
〃	円 谷 幸 吉	長距離競走で活躍

健康優良児童生徒並びに健康優良学校表彰

健康優良児童並びに健康優良学校の表彰については地方審査会において慎重審査のうえそれぞれ推せんをうけ、更に県審査会において総合審査（体位測定・身体精密検査、運動能力測定、面接）の結果下記の者を表彰した。

- (1) 健康優良児童生徒（1位のみ）

伏見 伸 行 （糠沢小）

横山 雅 子 （八幡小）